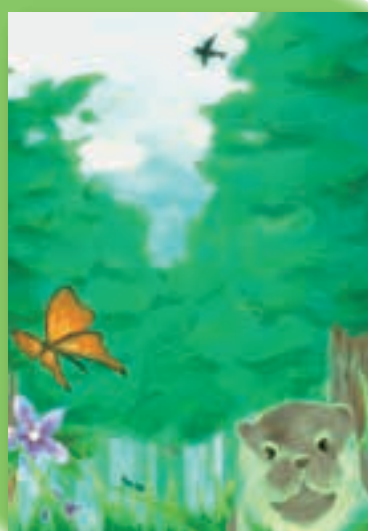


## 第2次

# 生物多様性えひめ戦略

～伝えていこう！

生きものの恵みと愛媛の暮らし～



平成29年2月  
愛媛県

【表紙絵】

生物多様性えひめ戦略表紙等原画コンクール入賞作品

(金賞)

愛媛県立伊予農業高等学校卒 西川 有美 (左上)

(銀賞)

愛媛県立三島高等学校卒 寺尾 明日華 (右上)

(銅賞)

愛媛県立三島高等学校卒 青木 千夏 (左下)

(銅賞)

愛媛県立松山南高等学校卒 河本 祐貴 (右下)

## ～ はじめに ～



私たちの住む愛媛県は、西日本最高峰の石鎚山や、多島美を誇る瀬戸内海、変化に富んだリアス式海岸を有する宇和海などの美しい自然に恵まれ、そこには 18,000 種をこえる野生動植物が生息・生育しています。

こうした本県の自然や野生動植物のつながりがもたらす「生物多様性の恵み」は、山・川・海・里からの水や食料等の供給、洪水・土砂崩壊などの災害の緩和といった、私たちの日々の暮らしを支えるとともに、地域特有の文化や伝統とも密接に結びついており、かけがえのない財産であるふるさと愛媛の自然環境を次の世代に確実に引き継いでいくことは、私たちの責務であります。

県におきましては、将来にわたって生物多様性の恵みを享受でき、人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り育まれる社会の実現に向け、平成 23 年に「生物多様性えひめ戦略」を策定し、これまでさまざまな取組を推進してきました。

しかしながら、平成 26 年に改訂した「愛媛県レッドデータブック 2014」では、平成 15 年に比べ、絶滅のおそれのある種が約 2 割増加するなど、野生動植物を取り巻く環境が大きく変化しており、更なる対策が求められています。

このため、今回の「第 2 次生物多様性えひめ戦略」においては、『つなごう未来へ 人・生きもの・暮らし！』を重点推進テーマに、生物多様性の保全とその恵みの持続可能な利用に向けた各種施策を着実かつ効果的に進めて参る所存ですので、引き続き、皆様方の御理解・御協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 2 月

愛媛県知事 中 村 時 広

# 目 次

## 第1章 戦略策定にあたって

1 戦略策定の背景	
(1) 生きものと私たちの暮らし	1
(2) 国内外の生物多様性に関連した動向	1
①本県の動き	1
②世界や国の動き	2
2 戦略の位置づけ	
(1) 戦略の必要性	3
(2) 戦略の性格	4
3 生物多様性の重要性	
(1) 多様な地球上の生命	4
①生態系の多様性	4
②種の多様性	5
③遺伝子の多様性	5
(2) 生物多様性の恵み	5
①大気と水	6
②食べものや木材	6
③生きものの機能や形態の利用	6
④豊かな文化の根源	6
⑤自然に守られる私たちの暮らし	7
(3) 生物多様性の危機	7
①第一の危機（開発や人間活動などによる危機）	7
②第二の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）	7
③第三の危機（外来生物など人間に持ち込まれたものによる危機）	8
④第四の危機（地球温暖化や海洋酸性化など地球環境の変化による危機）	8

## 第2章 生物多様性の現状

1 本県の現状	
(1) 地勢・気候	9
(2) 野生動植物	9
①動物	9
ア 哺乳類	9
イ 鳥類	10
ウ 爬虫類・両生類	10
エ 淡水魚類	10
オ 昆虫類	11
カ クモガタ類・多足類等	11
キ 貝類	11
ク 甲殻類等	12

②植物	12
ア 高等植物	12
イ 藻類	13
ウ 地衣類	13
エ 高等菌類	13
(3) 生態系	15
①原生的地域	15
②森林地域	15
③里地里山地域	15
④河川・水辺地域	16
⑤里海・沿岸地域	16
⑥都市地域	17
2 生物多様性の危機による現状	
(1) 野生動植物の生息・生育環境の悪化	18
(2) 里地里山地域での耕作放棄地や放置林の増加	18
(3) 野生鳥獣被害の増加	19
(4) 希少種の絶滅のおそれと外来生物の分布拡大	20
(5) 地球温暖化による影響	21

### 第3章 5年間で実施した具体的な重点施策の検証

1 実績及び検証結果	
(1) えひめの生物多様性パワーアッププロジェクト	23
①具体的な重点施策の実績と検証	23
②指標についての実績と検証	24
(2) えひめの生物多様性認識度3割アッププロジェクト	25
①具体的な重点施策の実績と検証	25
②指標についての実績と検証	26
2 今後の課題	
(1) 希少種をはじめ自然環境の監視や種の生息・生育地の保護管理の強化	27
①調査データの整備、活用の促進	27
②生物多様性の危機に対する対策の推進	27
(2) 社会経済活動における生物多様性への配慮と「生物多様性の恵み」で ある地域資源を活用した地域づくり等の推進	27
①社会経済活動における生物多様性の組み込み	27
②地域資源の積極的な活用	27
(3) 生物多様性に関する理解不足への対応	28
(4) 連携・協働による推進体制の構築	29
①生物多様性の浸透推進を図るためのネットワークづくり	29
②活動主体の交流や情報交換の場の提供	29

## 第4章 戦略の目指す将来像と目標

1	目指すべき将来像	30
2	中期目標	30
(1)	生物多様性の保全と管理	30
(2)	生物多様性の恵みの持続可能な利用	30
(3)	多様な人々の連携・協働	30
3	今回の計画期間と行動目標	30
(1)	計画期間	30
(2)	行動目標	30
4	行動計画と重点プロジェクト	31

## 第5章 行動計画

1	行動計画（10年先を見据えて）	
(1)	生物多様性の保全と人の営みの調和の推進	34
①	優れた自然環境の保全・再生	34
②	里地・里山・里海の保全・再生	35
③	希少野生動植物等の保護	35
④	生息・生育環境に対する影響の低減	36
⑤	野生鳥獣の適正管理	36
⑥	外来生物対策の推進	36
⑦	低炭素社会、循環型社会の実現に向けた取組の推進	37
(2)	社会経済活動における生物多様性への配慮と恵みの活用の推進	37
①	生物多様性保全をより重視した農林水産業の振興	37
②	社会経済活動における生物多様性の組み込みの取組推進	38
③	多様な地域資源の利活用の促進	38
(3)	生物多様性の価値の理解と行動の促進	38
①	生物多様性の重要性の情報発信、啓発	38
②	生物多様性の視点を取り入れた教育・学習・体験の活動の充実	39
③	生物多様性に配慮した行動の普及	39
(4)	未来につなぐ人材育成とネットワークの構築	40
①	NPO法人等活動団体や企業等の取組の支援	40
②	多様な主体が連携・協働できるネットワークの構築	40
③	生物多様性を支える人づくり	40
④	生物多様性支援拠点の機能充実	40
2	重点施策（今後5年間で実施）	
(1)	“学ぼう！”えひめの多様性 理解促進プロジェクト	41
(2)	“つなごう！”えひめの人ー生きものー暮らし 基盤強化プロジェクト	41
(3)	“守ろう！・活かそう！”自然と恵み 保全・再生・活用パワーアッププロジェクト	41

3 生物多様性えひめ戦略に係る成果指標	43
---------------------	----

## 第6章 推進体制と進行管理

### 1 推進体制

(1) 各主体の役割	44
① 県民の役割	44
② NPO等民間団体の役割	44
③ 農林水産業者の役割	45
④ 企業等事業者の役割	45
⑤ 大学等教育機関の役割	45
⑥ 行政の役割	45
・ 市町	45
・ 県	46
(2) 戦略を推進する組織の位置づけ・構成	46
① 生物多様性ネットワークの構築	46
② 愛媛県生物多様性センター	46
③ えひめの生物多様性保全推進委員会及び同委員会専門部会	46
④ 生物多様性保全推進庁内連絡会議	46
2 進行管理	46

参考資料	47
------	----